

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月6日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	36,983	6.1	4,880	25.9	4,923	21.1	3,643	△31.2
2023年3月期	34,869	17.8	3,876	—	4,066	—	5,296	—

(注) 包括利益 2024年3月期 4,197百万円 (△36.7%) 2023年3月期 6,634百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	174.38	—	8.8	9.6	13.2
2023年3月期	237.90	—	13.9	8.4	11.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	51,344	42,941	83.6	2,054.68
2023年3月期	51,160	39,788	77.8	1,903.77

(参考) 自己資本 2024年3月期 42,933百万円 2023年3月期 39,780百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,733	△2,467	△1,134	20,133
2023年3月期	5,507	△911	△3,472	20,001

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,082	21.0	2.8
2024年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00	1,149	31.5	2.8
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	30.00	55.00		31.1	

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	0.0	5,000	2.4	5,000	1.5	3,700	1.5	177.07

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	24,395,500株	2023年3月期	24,395,500株
2024年3月期	3,500,154株	2023年3月期	3,500,132株
2024年3月期	20,895,352株	2023年3月期	22,263,913株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	21,789	△20.1	3,690	△3.0	3,701	△6.6	3,205	△25.5
2023年3月期	27,255	3.2	3,805	—	3,961	—	4,302	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	153.41	—
2023年3月期	193.23	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年3月期	46,065		37,940		82.3	1,815.35		
2023年3月期	46,167		35,508		76.9	1,698.94		

(参考) 自己資本 2024年3月期 37,932百万円 2023年3月期 35,499百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、決算説明会(アナリスト、機関投資家向け)をオンラインで実施いたします。なお、決算説明資料については、2024年5月13日(月)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融引き締めにもなう海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に留意することが必要な状況にあるものの、雇用・所得環境が改善するもとで各種政策の効果もあり、景気はこのところ足踏みもみられますが緩やかに回復しております。

パチンコホール業界におきましては、大衆娯楽として健全かつ安心・安全な遊技環境を提供することを継続して推進しているなかで、スマート遊技機（スマートパチンコ、スマートパチスロ）の普及に向けて取り組んでおります。特にスマートパチスロにつきましては、スマートパチンコに比べて導入時期が早かったことや、ゲーム性が大幅に向上したこと、および注目度の高い機種が複数発売されたこともあり、順調に設置台数が増加しております。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機ではスマートパチンコの普及に課題が残るものとなりましたが、一部スマートパチンコの新規タイトルにおいて好調な稼働実績を残すタイトルがみられるようになってまいりました。一方、パチスロ遊技機ではスマートパチスロが市場を牽引する形で稼働は回復しており、当社グループを含めたパチスロメーカー各社から発売される主要な機種が多くがスマートパチスロとして発売されております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、スマート遊技機の開発促進を最重点課題としたうえで、引き続き、市場トレンドの先端を行く機種開発に取り組み、お客様に支持される遊技機を安定的に供給することにより、販売台数の確保に努めております。

当連結会計年度におきましては、パチンコ遊技機では、人気アニメ、定番ホラーシリーズ、国民的アニメなど、多様なジャンルの遊技機を新たに8機種、パチスロ遊技機では、若年層向けのタイトルを中心に新たに3機種を市場投入いたしました。なかでも、当社グループの新たな主力シリーズである「とある」シリーズはパチンコ・パチスロ遊技機で市場投入を行い、販売台数を確保するとともに、多くのファンの皆様に高い評価をいただきました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高369億83百万円（対前年同期比6.1%増）、営業利益48億80百万円（同25.9%増）、経常利益49億23百万円（同21.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益36億43百万円（同31.2%減）となりました。

製品別の状況は次のとおりであります。

(パチンコ遊技機)

上半期では、新規タイトルとして「Pゴブリンスレイヤー」（2023年4月発売）、「スマパチ RAVE覚聖ループ」（2023年6月発売）、「Pリング 呪いの7日間3」（2023年8月発売）を市場投入したほか、その他シリーズ機種などを継続販売いたしました。

また、下半期では、新規タイトルとして、「Pゲゲゲの鬼太郎 獅子奮迅」（2023年10月発売）、「スマパチ ゲゲゲの鬼太郎 獅子奮迅SP」（2023年10月発売）を同時投入したほか、「Pとある魔術の禁書目録（インデックス）2」（2023年12月発売）、「P緋弾のアリア～緋緋神降臨～ラッキートリガーVer.」（2024年2月発売）、「P FAIRY TAIL これが七炎竜のカダ」（2024年3月発売）など、その他シリーズ機種を継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は61千台（対前年同期比8.9%減）、売上高は237億41百万円（同6.1%減）となりました。

(パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機では、「Lゴブリンスレイヤー」（2023年4月導入）が本格的に導入開始されたことに加えて、新規タイトルとして、「パチスロ 戦国×恋姫」（2023年6月発売）、「スマスロ とある魔術の禁書目録（インデックス）」（2023年10月発売）、「パチスロ 琉神-30 スイカバージョン」（2023年11月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は29千台（対前年同期比28.1%増）、売上高は132億42百万円（同38.0%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は329億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億33百万円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が17億42百万円、電子記録債権が11億35百万円増加したことに対し、受取手形、売掛金及び契約資産が27億85百万円、商品及び製品が8億99百万円減少したことによるものであります。固定資産は183億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億17百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が9億88百万円、長期前払費用が6億21百万円増加したことに対し、繰延税金資産が4億68百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は513億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は67億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億96百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が17億94百万円、未払金が5億71百万円減少したことによるものであります。固定負債は16億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は84億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億69百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は429億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億53百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益36億43百万円および剰余金の配当10億44百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.6%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、201億33百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は37億33百万円となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益48億70百万円、減価償却費18億9百万円などが増加の要因であり、仕入債務の減少額16億74百万円、法人税等の支払額11億29百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は24億67百万円となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入4億1百万円などが増加の要因であり、有形固定資産の取得による支出19億72百万円、投資有価証券の取得による支出6億1百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は11億34百万円となりました。

これは主に、配当金の支払額10億44百万円などが減少の要因であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な金融引き締めにもなう海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分留意することが必要な状況にあるものの、雇用・所得環境が改善するもとで各種政策の効果もあり、景気の緩やかな回復が続くことが期待されます。

パチンコホール業界におきましては、新紙幣刷新にもなう設備投資への負担が生じるなど、店舗運営における経営課題は残されておりますが、大衆娯楽として健全かつ安心・安全な遊技環境を提供することを継続して推進しております。

遊技機業界におきましては、遊技機メーカーによる「スマート遊技機」の普及促進が行われているなかで、パチンコ遊技機では新しい出玉の波を創出する機能「ラッキートリガー」を搭載した機種が市場投入されるなど、市場環境の活性化への期待が見込まれております。

当社グループといたしましては、「ブランドの強化」と「経営基盤の強化」を最重点課題としたうえで、引き続き、市場トレンドの先端を行く機種開発に取り組み、お客様に支持される遊技機を安定的に供給することにより、販売台数の確保に努めてまいります。

以上の状況を踏まえ、2025年3月期の連結業績につきましては、売上高370億円（対前年同期比0.0%増）、営業利益50億円（同2.4%増）、経常利益50億円（同1.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益37億円（同1.5%増）を予想しております。

(注) 遊技機の製造・販売については、風営法等に定める「技術上の規格」への適合について、指定試験機関による型式試験および各都道府県公安委員会による検定を受ける必要があります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,402	20,133
受取手形、売掛金及び契約資産	5,663	2,877
電子記録債権	176	1,311
商品及び製品	915	16
原材料及び貯蔵品	4,987	6,729
前渡金	1,843	1,645
前払費用	180	145
未収還付法人税等	—	50
その他	293	213
貸倒引当金	△144	△138
流動資産合計	34,318	32,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,499	6,580
減価償却累計額	△3,671	△3,899
建物及び構築物（純額）	2,828	2,681
機械装置及び運搬具	3,563	3,699
減価償却累計額	△3,047	△3,012
機械装置及び運搬具（純額）	516	687
工具、器具及び備品	10,285	11,018
減価償却累計額	△9,575	△10,313
工具、器具及び備品（純額）	709	705
土地	3,152	3,152
建設仮勘定	134	254
有形固定資産合計	7,341	7,480
無形固定資産		
ソフトウェア	539	747
その他	124	124
無形固定資産合計	663	872
投資その他の資産		
投資有価証券	4,732	5,721
長期前払費用	2,208	2,829
繰延税金資産	1,214	746
その他	1,172	1,197
貸倒引当金	△491	△488
投資その他の資産合計	8,837	10,006
固定資産合計	16,842	18,359
資産合計	51,160	51,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,691	3,896
未払金	1,517	945
未払費用	206	229
未払法人税等	751	542
賞与引当金	606	603
役員賞与引当金	126	130
その他	719	375
流動負債合計	9,619	6,723
固定負債		
退職給付に係る負債	839	766
資産除去債務	303	304
その他	608	608
固定負債合計	1,752	1,679
負債合計	11,372	8,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	35,583	38,183
自己株式	△4,685	△4,685
株主資本合計	37,408	40,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,446	2,717
退職給付に係る調整累計額	△74	208
その他の包括利益累計額合計	2,371	2,925
新株予約権	8	8
純資産合計	39,788	42,941
負債純資産合計	51,160	51,344

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	34,869	36,983
売上原価	16,965	17,480
売上総利益	17,904	19,502
販売費及び一般管理費	14,027	14,621
営業利益	3,876	4,880
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	46	50
受取賃貸料	20	19
違約金収入	100	—
利用分量配当金	4	17
固定資産賃貸料	3	19
その他	40	27
営業外収益合計	215	138
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	10	—
シンジケートローン手数料	10	89
賃貸収入原価	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	26	95
経常利益	4,066	4,923
特別利益		
固定資産売却益	12	2
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	12	3
特別損失		
投資有価証券評価損	—	0
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	3
関係会社株式評価損	—	52
特別損失合計	1	56
税金等調整前当期純利益	4,077	4,870
法人税、住民税及び事業税	803	875
法人税等調整額	△2,022	351
法人税等合計	△1,218	1,227
当期純利益	5,296	3,643
親会社株主に帰属する当期純利益	5,296	3,643

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	5,296	3,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,465	271
退職給付に係る調整額	△127	282
その他の包括利益合計	1,338	554
包括利益	6,634	4,197
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,634	4,197

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,281	3,228	31,407	△2,324	35,592
当期変動額					
剰余金の配当			△1,119		△1,119
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,296		5,296
自己株式の取得				△2,361	△2,361
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計			4,176	△2,361	1,815
当期末残高	3,281	3,228	35,583	△4,685	37,408

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	980	52	1,033	—	36,626
当期変動額					
剰余金の配当					△1,119
親会社株主に帰属する 当期純利益					5,296
自己株式の取得					△2,361
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,465	△127	1,338	8	1,346
当期変動額合計	1,465	△127	1,338	8	3,162
当期末残高	2,446	△74	2,371	8	39,788

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,281	3,228	35,583	△4,685	37,408
当期変動額					
剰余金の配当			△1,044		△1,044
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,643		3,643
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			2,599	△0	2,598
当期末残高	3,281	3,228	38,183	△4,685	40,007

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	2,446	△74	2,371	8	39,788
当期変動額					
剰余金の配当					△1,044
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,643
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	271	282	554		554
当期変動額合計	271	282	554		3,153
当期末残高	2,717	208	2,925	8	42,941

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,077	4,870
減価償却費	1,857	1,809
貸倒引当金の増減額（△は減少）	8	△8
賞与引当金の増減額（△は減少）	294	△2
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	126	4
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△39	209
受取利息及び受取配当金	△47	△54
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△0
固定資産売却損益（△は益）	△12	△2
固定資産除却損	1	3
投資有価証券評価損益（△は益）	—	0
関係会社株式評価損	—	52
売上債権の増減額（△は増加）	△664	1,650
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,731	△842
前渡金の増減額（△は増加）	△192	197
長期前払費用の増減額（△は増加）	321	△1,040
仕入債務の増減額（△は減少）	534	△1,674
未払金の増減額（△は減少）	628	△590
その他	146	229
小計	5,307	4,809
利息及び配当金の受取額	47	53
法人税等の支払額	△166	△1,129
法人税等の還付額	319	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,507	3,733
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	401
有価証券の償還による収入	200	—
投資有価証券の取得による支出	—	△601
投資有価証券の売却による収入	—	1
有形固定資産の取得による支出	△912	△1,972
有形固定資産の売却による収入	10	2
無形固定資産の取得による支出	△195	△224
関係会社株式の取得による支出	—	△76
その他	△13	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△911	△2,467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,119	△1,044
自己株式の取得による支出	△2,361	△0
その他	8	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,472	△1,134
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,123	131
現金及び現金同等物の期首残高	18,877	20,001
現金及び現金同等物の期末残高	20,001	20,133

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結損益計算書）

前連結会計年度まで「営業外収益」の「その他」に含めていた「利用分量配当金」および「固定資産賃貸料」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた48百万円は、「利用分量配当金」4百万円、「固定資産賃貸料」3百万円、「その他」40百万円として組み替えております。

（セグメント情報等）

当社グループは、遊技機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,903.77円	2,054.68円
1株当たり当期純利益	237.90円	174.38円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益および潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,296	3,643
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,296	3,643
普通株式の期中平均株式数(株)	22,263,913	20,895,352
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第1回新株予約権 新株予約権の数15,000個 (普通株式1,500,000株)	第1回新株予約権 新株予約権の数15,000個 (普通株式1,500,000株)

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2024年5月10日の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行う事を決議いたしました。

1. 消却する株式の種類 当社普通株式
2. 消却する株式の数 1,500,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合6.15%)
3. 消却日 2024年5月27日(予定)

(ご参考)

消却後の発行済株式総数 22,895,500株(自己株式を含む)

4. その他

役員の異動 (2024年6月26日付予定)

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動

・ 新任取締役候補

(非常勤) 取締役 (監査等委員) (社外) 帆足智典

・ 退任予定取締役

取締役 専務執行役員 米田勝己

(非常勤) 取締役 (社外) 坪本浩一郎

(3) 2024年6月26日以降の役員体制

代表取締役会長

松元邦夫

代表取締役副会長

松元正夫

代表取締役社長

今山武成

取締役 専務執行役員

松下智人

取締役

當仲信秀

取締役 (常勤監査等委員)

市川雅和

取締役 (常勤監査等委員) (社外)

岩松登

取締役 (監査等委員) (社外)

川島育也

取締役 (監査等委員) (社外)

帆足智典 (新任)

常務執行役員 営業本部長

中村敏幸

常務執行役員 経営管理本部長

村上和繁

常務執行役員 製造本部長

遠藤匡雄

常務執行役員 開発本部長

久世壮平

執行役員 情報システム部長

西濱義文